

中部E S D拠点運営委員会（第9回）議事メモ

日 時 平成20年8月29日（木）16時00分～19時45分

場 所 中部大学名古屋キャンパス（810号室）

出席者 竹内委員長、寺井、長谷川、高山、村瀬（天野の代理）の各委員

オブザーバー 武者小路、羽後、伊藤、安在、小澤、今枝、竹峰

事務局 古澤、岡本、永田

議 事

1. 中部E S D拠点ロゴマーク公募の審査体制について

事務局から、ロゴマークの応募状況の説明とロゴマーク審査体制・スケジュール（案）の提出があり、種々意見交換、確認等が行われ、以下のように措置することとした。

(1) ロゴマークの審査委員は、以下の方々に委嘱することとする。

①一次審査

- ・中部E S D拠点運営委員会委員及び事務局員
- ・中部E S D拠点協議会参加団体会員からの希望者（各団体最大1名を募集）
- ・可能ならば地元デザイン系大学の学生

②二次審査

- ・竹内恒夫氏（中部E S D拠点運営委員会委員長、名古屋大学教授）
- ・東海・中部地域「持続可能な発展のための教育の10年」市民推進会議より1名
- ・新海洋子氏（中部E S D拠点運営委員会委員、中部環境パートナーシップオフィス（E P O中部）チーフプロデューサー）
- ・高北幸矢氏（名古屋造形大学学長）
- ・水津功氏（愛知県立芸術大学准教授）
- ・中部E S D拠点協議会参加団体会員より若干名（1次審査に参加する協議会会員より選出）

(2) ロゴマーク審査スケジュールは、以下の予定で行う。

①一次審査

- ・9月25日（木）

②二次審査

- ・10月第1週～2週のいずれかの日

2. 第2回総会及びフォーラムについて

竹内委員長から、第2回総会及び第2回中部ESD拠点フォーラムの日時等について、以下の案の提示があり、これを承認した。

日 時：2008年11月29日（土）、30日（日）

場 所：名古屋大学環境総合館

また、フォーラムのための第一回実行委員会は、9月25日（木）に開催することが確認され、それまでに各委員及び事務局から案を出し合い、叩き台を準備することとした。

3. COP10への対応について

中部ESD拠点協議会としての生物多様性締約国会議（COP10）へ向けた対応として、高山委員と東海・中部ESD市民推進会議の今枝氏より、それぞれ提案と説明があった。

高山委員からは、生物多様性COP9（2008年5月、ボン）でNGOは何をしたか、などの説明を交え、「伊勢湾再生総合政策研究会」を運営し、その成果を生物多様性COP10と連動させたい旨の提案があった。

今枝氏からは、COP10ロードマップの資料を使って、COP9からCOP10へ向けた動向の解説があり、現在、NGOや市民サイドでどのような準備が進んでいるかについての報告があった。また、東海・中部ESD市民推進会議でも参加予定の「カウントダウン2010プロジェクト」に関する説明と、中部ESD拠点協議会として参加する提案があった。

4. (株) Good News Japan からの提案について

(株) Good News Japanの伊藤氏、安在氏、小澤氏（プロダクション会社）より、中部ESD拠点と何らかの形で関わりながら、ESD教育を意図した番組制作・ESD教材開発を行いたい旨の提案と、番組の内容（「『生物多様性』教育・啓蒙コンテンツ」開発企画（案））についての説明があった。その提案と説明を受け種々意見交換が行われ、経済的負担を負うことが困難な中部ESD拠点協議会・運営委員会としては、監修若しくは制作実行委員会の会員などの立場で関わることを前提に、今後、(株) Good News Japanと番組の中身を話し合っていく旨の確認を行った。

以 上